

## ◆ はじめに

冬休みが終わり、春学期が始まりました。冬休み期間中は色々アメリカ国内を旅行できて、非常に楽しかったです。つい先日も、フロリダの学校に通っている友人に会いに行きました。そして一緒にマイアミビーチやマイアミのダウンタウンに行って遊んできました。マイアミはとても暑く、シャンペンに帰ってきてからあまりの寒さに驚きました。現在シャンペンは寒い時には $-12^{\circ}\text{C}$ ほどになります。寒いというよりもはやただただ痛いだけです。体を壊さないように頑張ります。

さて、今回は、春学期に履修している科目について報告させていただきます。

## ◆ 春学期に履修している科目

春学期に履修している科目を報告します。とはいっても、まだ2週目で、イントロダクションが終わり本格的に授業がスタートし始めた段階です。

• ESL115—Principles of Academic Writing (3 credit)

やっと履修できました ESL(English as a Second Language)のライティングのクラスです。ESL は、英語が母国語ではないインターナショナルの学生向けのクラスで、ライティングや、口頭でのコミュニケーションなどの科目があります。うちライティングは留学生は必ず履修しなければなりません。TOEFL iBT のスコアによっては免除もできます。履修の流れとしては、まず TOEFL iBT のスコアが見られます。それで(学部やステータスによってもしかしたら違うかもしれませんが私たちの場合は)スコアが 103 点未満の学生、もしくは TOEFL iBT を受けてない学生は、EPT という、ライティングとインタビューで構成されている試験を受けなければなりません。私もこの試験を受けました。そこで、その試験の点数によって、ESL113、114、115(すべてライティングのクラスで、数字が大きくなると難易度が上がります)のいずれかから履修していかなければなりません。私は ESL115 を履修するように言われました。本来、前学期に履修したかったのですが、履修できませんでした。交換留学生は、単位習得を目的としている学生よりも、履修申請できる期間のスタートが遅く、履修できる時期にはいったときはすでに人気のクラスはいっぱいですといったことが起こる場合があります。とくにこの ESL の履修申請スタート時期はかなり遅く、前学期は諦めざるをえませんでした。今学期ももしかしたら履修できないんじゃないかと不安でしたが、今学期は席にも余裕があり、履修することができました。

このクラスではエッセイの書き方を学びます。テストやクイズはなく、成績は宿題やエッセイでつけられます。クラスは 10 人ちょっとほどで、ディスカッションの機会も多くあります。私ともうひとりベトナムからの学生以外は全員中国からの留学生です。IEI におけるライティングのクラスと非常に似ていますが、現段階において学生のレベルは IEI500 の学生の方が高いんじゃないかなと思うくらいです。ライティングのスキルとスピーキングのスキルの両方においてです。IEI の頃に比べて私がちょっと成長できたんだなとポジティブに考えてます。

• ME300—Thermodynamics (3 credit)

熱力学のクラスです。かねてより履修したかったクラスのひとつです。講義のみで構成されており、成績は 10%が宿題、あとの 90%はすべて中間テストと期末テストで決まります。教授がかなり厳しいです。前学期履修していた物理のクラスの教授や今学期の ESL のクラスの先生、または IEI の先生にしてもですが、かなりフレンドリーでいかにもアメ

リからしいクラスでしたが、このクラスの講義の印象としては、日本の大学に雰囲気に近いものがあります。他のクラスでは中にはパソコンをひらいてフェイスブックをみたり、サンドイッチをくっちゃくっちゃと食べたり、友達とゲームをしたりといった学生がいました。しかしこのクラスではそういった学生はいません。そして、これはこのクラスにかぎらずですが、学生は日本の大学における学生に比べて、活発に質問しますし、教授の問いにも積極的に答えます。このクラスではたいていは、「全然違う!」、「もっと大きい声で言え!」と怒鳴られますが。

300 番台ともなると教科書もかなり分厚いですが、予習と復習で、教科書の隅から隅まで読むように心がけています。

#### • TAM335—Introductory Fluid Mechanics (4 credit)

流体力学のクラスです。熱力学と同じく履修したかったクラスで、履修できて本当によかったです。ME や TAM といったエンジニアリング系のクラスはバイオ、エアロ、ニュークリアーと様々な工学系の学生が集まってきます。ゆえに、どのクラスも常にいっぱい、履修できない可能性もあります。週に3時間の講義と2時間のラボから成り立っています。講義は熱力学と同じく日本の大学のような形式、つまり教授が前にたってひたすらホワイトボードに概念や式を書いていきます。そして週に1度、宿題が課されます。そしてラボが非常にタフです。行うことは、基本的にはチームで与えられた実験を行い、レポートを週に1度提出します。このレポートが工大における専門実験のものほどではありませんが、しっかり、実験目的、方法、結果、考察/ディスカッションを書いていかなければなりません。予習、復習で、分厚い教科書の隅から隅まで読みつくすと決めましたから、それもあってこの流体力学と熱力学の授業だけでかなりの時間を費やしてしまいます。しかし嬉しかったことはラボでかなり積極的に発言できるようになり、対等にコミュニケーションをとれるようになってきたことです。前学期の物理のラボではこの先やっていけるのかと不安になったものですが。例えば、チームのうちの一人に私が測定したマノメータの液柱高さについて批判、というか相手の口調的には文句、を言われたときに「目視でどうやってそこまでの精度出すねん、複数回測定して平均すればええやろ」「オーケーわかったよ」くらいのやりとりはできるようになりました。以前は言いたいことがあっても発言を躊躇してしまいましたが。現在レポートの作成を必死に行なっています。

#### • MSE201—Phases and Phase Relations (3 credit)

機械材料系のクラスです。週3時間の講義で構成されています。クイズ、ホームワーク、中間試験、期末試験によって成績がつけられます。実は、ME320のHeat TransferかTAMの材料力学系、動力学系の授業を履修したかったです。ただHeat Transferの授業もラボがあり、こちらの学生に、3つの300番台の工学系クラスのうち2つにラボがあるなんて、1日の平均睡眠時間が3時間になるよとアドバイスを受けてやめました。いつか書かせていただきました、ETCやEnglish Cornerの活動にも参加したいです。材料力学系と動力学系はすでに枠が埋まってしまっていて履修できなかったか、優先度の高い熱力学、流体力学のクラスとスケジュールがかぶっていたかで、諦めざるをえませんでした。機械材料系はあまり興味がないというのが本音ですが、新たな発見があるかもしれませんのでがんばります。

現在までで判断するに、今学期は前学期よりも確実にきつくなると思います。一方で就活がない分、勉強のほうに集中できるのでやりやすいと言えればやりやすいです。すべてのクラ

スで好成績がとれるようがんばります。